

光寿無量

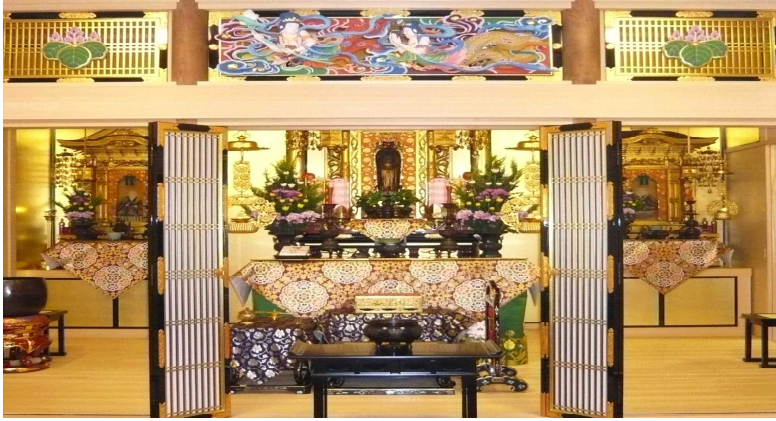
年頭にあたり

御挨拶を申し上げます

今年もお念仏とともに

一日いちにちを

大切に過ごしましょう



法話

お浄土の1日は

長いらしいよ

もう少しこっちでご報謝を

深川 宣暢 師

本願寺 勸学

56億年を経ずに

次に仏陀に成ってこの世

に現れる弥勒菩薩(マイ

トレーヤ)は、今は兜率

天(天界のひとつ)で過

ごしている。その兜率天で

の寿命は四千年であり、一

日一昼夜は人間の世界の四

百年に当たるといふ。つま

り弥勒菩薩が兜率天として

一生涯を過ごして、この世

界に仏と成って現れるまで

には、この人間界でいえば

四百年(1日)×三百六十

日(1年)×四千年(一生

涯)となつて、ざつと五十

六億七千万年ほど待つこと

になると伝わった(実際の

計算では五十六億七千六百

万年)。

しかし、『和讃』に、

五十六億七千万

弥勒菩薩はとしをへん

まことの信心うるひとは

このたび

さとりをひらくべし

(注釈版聖典より)

とあるように、弥勒菩薩が

仏に成るまでは五十六億七

千万年もかかるが、真実信

心の念仏者がこの生涯を終

えたら、すぐにさどりの仏

になるのだよと和讃され

(讃えられ)ているのだ。

感謝とともに

山口県長門市俵山温泉

に光摂坊という説教所が

ある。ながいこと毎月18日

に法話会が開かれていた。

そこに毎月のように、温泉

に入りながらお聴聞された

広島のお夫婦があった。あ

る時からピタリとお参りが

途絶えた。何かあったと思

われたが、法話会はそのま

まに開かれていた。

しばらくした頃、おバア

さんが久しぶりに一人でお

参りにみえた。たずねると、

「はい、こないだジイさん

がお浄土へ参りました」と

「ほう、最後は何か話が

できたかね?」

おバアさんが、やや眼を

うるませながら話す。

「はい、ジイさんは私に

お礼を言うて住きました。

”永いことワシに連れ添う

てくれたの。世話になった、

ありがとうの”と言うて往

きました」

おジイさんは兜率天の1

日の話を聞いていたのであ

る。そしてお浄土の1日は

そんなもんじゃないうと

聞いていたのであろう。お

バアさんに話したという。

「あのな、お浄土の1日は

人間の国の四百年よりも長

いらしいよ。じゃからワシ

が参つても、ひと休みもせ

んうちに前も来るように

なるじゃろう。ワシが寂し

いとも思わんうちにの。そ

やからお前は、もう少しこ

つちでご報謝しておいで

と。

おバアさんは少し微笑ん

で、そう話してくれた。

(本願寺新報 3502号より)

## 住職より

昨年、親鸞聖人生誕850年 浄土真宗立教開宗800年の記念法要が京都で開かれました。

今年は、この法要を築地本願寺でお勤めします。

つきましては、法要と築地本願寺本堂の修復の寄付の依頼が来ております。

築地本願寺の修復に関しては、十数年前に耐震工事と内陣の修復で、教誓寺御門徒の皆様にもご寄付を頂戴いたしました。

しかし、本堂大屋根の雨漏りなどひどく、もう一度修繕のご寄付を賜りたいと、教区の各寺院に依頼があり、教誓寺には約五十万円の依頼がありました。

次年度の教誓寺維持会費のお願い(三月にお願いしませす)の時に、併せてご寄付をお願いしたいと考えています。また、教誓寺の維持会費

についても、令和七年度に改定させて頂きたく、令和六年は皆様のご意見を頂戴して維持会費の額を定めてまいりたいと思います。令和六年もよろしくお願い致します。

## 教誓寺一年の行事

今年一年の教誓寺の行事です。元日・春・秋の彼岸会、盂蘭盆会、報恩講にはそれぞれ法要を勤修いたします。皆様お参り下さい。

元日

三月十七〜二十三日

三月二十日(春分の日)

七月一三〜一六日

七月七日

九月十九〜二五日

九月二二(秋分の日)

十月二七日(第4日曜) 報恩講



折り紙 坊守作

## 新年のご参詣

新しい年を迎えたら、お詣りに参りましょう。元日会法要 一月一日

午前七時三〇分より 本願寺は、準備万端整えて、元日から皆様のお参りを歓迎致します。

坊守もお汁粉を拵えて、皆様にお召し上がって頂くのを楽しみにしております。お子様には、お年玉のお菓子を用意しております。皆様でお参り下さい。

## 年回忌法要

御法事は亡き人を縁として、いま生かされている生命の尊さをおかみしめつつ、故人も我も共にすくってくださる阿弥陀如来の智慧と慈悲に手を合わせ、その仏恩にご報謝のおつとめとして行います。

各ご施主様宛に年回忌法要のご案内をしています。今では交流のなくなつた

ご親戚の分が含まれる場合がありますが、一族の代表としてお伝え頂ければ、有り難く存じます。すでに繰り上げておつとめされた方にもご案内が届きます事をご容赦下さい。また、内容に誤り等があった場合は、ご遠慮なくご指摘下さい。ご参詣の日時につきましては、お寺にご相談下さい。

## 令和六年の年回忌

- 一周忌 令和五年 二〇二三年
- 三回忌 令和四年 二〇二二年
- 七回忌 平成三十年 二〇一八年
- 十三回忌 平成二十四年 二〇一二年
- 十七回忌 平成二十年 二〇〇八年
- 二二回忌 平成十四年 二〇〇二年
- 二七回忌 平成十年 一九九八年
- 三三回忌 平成四年 一九九二年
- 三七回忌 昭和六三年 一九八八年
- 五十回忌 昭和五十年 一九七五年
- 七十回忌 昭和三十年 一九五五年
- 百回忌 大正十四年 一九二五年

浄土真宗本願寺派 圓生山 教誓寺  
108-0073  
東京都港区三田 一―二―一十一  
〇三(三四五)二三九  
kyouseiji@is4.sonet.ne.jp